

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

| | |
|-------------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 平成28年度 第1回吉川市児童福祉審議会 |
| 開 催 日 時 | 平成28年11月24日(木) 午後6時00分から 午後7時45分まで |
| 開 催 場 所 | 吉川市役所第2庁舎204会議室 |
| 出席委員(者)氏名 | 手塚崇子委員(会長)、田中公明委員、高井良奈緒美委員、 五十嵐修委員、市川俊行委員、竹内真希委員、小針依莉子委員、 熊木崇人委員 |
| 欠席委員(者)氏名 | なし |
| 担当課職員職氏名 | 健康福祉部副部長 伴 茂樹 子育て支援課 課長 山崎純子 子育て支援課子育て支援係 係長 木村みのり 子育て支援課子育て支援係 主事 石井賢聖 保育幼稚園課保育幼稚園係 係長 渡辺剛 保育幼稚園課施設運営係 係長 森田武 |
| 会議次第と会議の公開又は非公開の別 | 1 開 会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (2) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 4 その他 5 閉 会 ※ すべて公開 |
| 非公開の理由 (会議を非公開にした場合) | なし |
| 傍聴者の数 | なし |
| 会議資料の名称 | 資料1「吉川市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について」、 資料2「計画の変更について」 |
| 会議録の作成方法 | <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 |
| 会議録確認指定者 | 竹内真希委員、小針依莉子委員 |
| その他の必要事項 | |

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p> <p>【関係資料】</p> <p>資料1 吉川市子ども・子育て支援事業計画 計画の進捗状況について</p> <p>(主な説明概要)</p> <p>計画に記載している「量の見込み」及び「確保の内容」について、平成27年度の実績値や進捗状況について報告。特に計画値との乖離が見込まれ、計画の見直しが必要と考えられる「幼児期の学校教育・保育」と「病児・病後児保育」について、詳細を説明。</p> <p>(質疑応答)</p> |
| 委員 | <p>平成27年度については、計画においても量の見込において待機児童が見込まれるという数値になっていたもので、計画通りに推移している。(資料1 P 4)</p> |
| 委員 | <p>地域子育て支援事業の中央中学校区について、東中学校区、南中学校区に比較して大幅に増えている。これに対する対応はどうなっているのか。</p> |
| 事務局 | <p>量の見込については、平成25年度の利用実績及び人口推計で各中学校区の児童の人数を見込み、算出している。量の見込みに比べ、利用実績の人数は多くはなっているが、支障なく運営できている。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>現状と課題のところに記載しているようなセンターの移転等で対応できていると考えてよいのか。</p> |
| 事務局 | <p>中央中学校区においては、開設日数を週3日から週5日に拡充したり、場所の移転などの変化があった。今後も引き続き継続して運営をしていくものである。</p> <p>なお、施設の面積については、移転後少し広がっている。</p> |
| 委員 | <p>P4の保育所の説明についてだが、新たな施設整備を行ったことから保育所の入所を希望する保護者が増加したということは、これまで幼稚園でもいいかなと考えていた保護者が希望しているとのことか。</p> |
| 事務局 | <p>増加した要因として、まず、計画策定時の人口を平成27年度をピークに就学前児童数が緩やかに減少していくと見込んでいた人口推計を使用していた。利用率については、新制度が始まるので、利用率は上昇することを見込み、平成27年、28年度をピークとした見込みで数値を設定した。</p> <p>しかし、美南地区の就学前人口の増加が著しく、また、新制度をきっかけに保育所入所を考える方が増加し、申請率が高くなった。また、26年度、27年度において保育所を整備するなかで、保育所への関心が高まったことも申請が増加した要因と考えている。</p> <p>(2) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 【関係資料】 資料2 計画の変更について (主な説明概要)</p> <p>「幼児期の学校教育・保育」の量の見込と確保方策につい</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>て、平成28年度の申し込み状況等から、今後の見込についても推計し、計画の見直しを図りたい旨を説明。また、病児・病後児保育については、実績に基づいた量の見込・確保方策としたいことを説明した。</p> |
| 委員 | <p>P6の人口に対する申込率というのは、市内のそれぞれの年齢の人口数に対する保育所の申込数と考えてよいのか。</p> |
| 事務局 | <p>そのとおりである。</p> |
| 委員 | <p>来年度以降、保育の確保方策を見直すと言うことで、平成29年度は、目処が立っているとのことだが、30年度以降の確保方策というのは、保育所を増やすということか。</p> |
| 事務局 | <p>まず、今回の計画の見直しに当たっては、計画策定時以後の人口推計を使用しており、開発地域の人口増も見込んだものとなっている。</p> <p>30年度、31年度については、保育の量を確保することが必要なので、保育所の整備を進めていくことになる。</p> |
| 会長 | <p>保育所の整備ということだが、それは新規なのか増設なのか。</p> |
| 事務局 | <p>整備の手法については、これから検討する。また、複数の事業者からの相談を受けており、様々な手法で、全体として量の確保を行っていくものである。</p> |
| 委員 | <p>小規模保育は2歳までの受け入れだが、3歳児以降の受け入れ枠がないということはないのか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>現在、市内に小規模保育施設は3園あり、卒園した児童については、他園の3歳児の枠で入所できるよう優先的な取り扱いをしている。</p> <p>全体としては、3歳未満の入所が厳しいと考えているが、小規模保育の整備だけを進めてしまうと3歳の壁ができてしまう。今のところ問題はないが、今後は十分注意をしながら、計画が着実に実行できるようにすすめていきたい。</p> |
| 委員 | <p>現在保育所をやりたいという新規の申請はどのくらいあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>相談を受けているものはいくつがある。</p> <p>今年度中に小規模2園について、整備の支援をしていく予定である。その後については検討中である。</p> |
| 委員 | <p>相談に来ている事業者は、これまでも幼児教育等をやったことのある事業者なのか。それとも、全く経験のない株式会社などなのか、その比率は。</p> |
| 事務局 | <p>すでに幼児教育等に取り組んでいる事業者と通常の実業体である会社とだいたい同じくらいの割合である。</p> |
| 委員 | <p>事業者をどのように確認しているのか。</p> |
| 事務局 | <p>事業者については、申請時に市の姿勢を説明し、慎重に内容を確認するとともに、運営後も確認をしている。</p> |
| 委員 | <p>設置基準は他市に比べてどうなのか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 大きくは変わらない。小規模についても、同様である。 |
| 委員 | 事業者へのPRはしているのか。 |
| 事務局 | 計画の変更にもなってやり方を検討していく。 他市の状況を見てみると、相談や公募などの方法はあるが、小規模保育を作り過ぎてしまうと3歳の壁ができてしまうので、確保の方法については、どのような形態がこのまちに合っているのかを慎重に考えていきたい。 |
| 会長 | 整備の基準、手法について市の考え方を具体的に聞きたい。 吉川市の補助などはあるのか。どういうプロセスを経て決まっていけるのか。 |
| 委員 | 保育事業者を誘致するのに、市として考えていることはあるのか。 |
| 事務局 | 計画に関しては、量をきちんと確保していくことが重要であると認識している。保育を必要としている方がいるので、この問題にはしっかり取り組んでいきたい。 また、全体のバランスを見ながら整備は行っていきたい。 そして、質の問題も重要だと考えている。適切に事業を行ってもらえる事業者に、市としてもできるだけの支援をしていきたいと考えている。 |
| 委員 | 幼稚園が認定こども園になればいいという考えもあるだろうが、幼稚園は、それぞれ教育施設としての考えがある。 |
| 事務局 | 幼稚園は、教育方針をもって幼児教育を担っているので、その |

| | |
|-----|--|
| | 考え方は尊重していくべきと認識している。 |
| 委員 | 幼稚園と保育園は別なものとの考えではなく、子どもは同じなので、協力し合ってやっていきたいと考えている。 |
| 委員 | 保育園は、園によって保育料は違うのか。 |
| 事務局 | どの園でも同じ基準で所得に応じて、保育料は決まっている。 |
| 委員 | 0．1．2歳を預けられる家庭保育室に入所しやすいような補助はあるのか。 |
| 事務局 | 待機児童になってしまわれた方々にどのような支援が有効なのか、予算の問題も含めて検討している。また、家庭保育室等の認可外に入所する方に対しての経済的な支援の必要性についても検討をさせていただいているところ。 |
| 委員 | 現実的には、新しい保育所を整備していくのは難しい。ソフト面で考えていく必要があるのではないか。 |
| 事務局 | 本市は、国から待機児童に関して緊急的な取り組みを行っている自治体と位置付けられている。そのため、この計画の中には、反映はされないが、定員の20%を超えて受け入れられる弾力化が時限付きで認められている。しかし、これに頼ってしまうと後が困ってしまうので、事業者にも協力をしてもらい、利用できる制度は利用しながら一人でも多くの受け入れについて取り組んでいきたいと考えている。 |
| 会長 | 既存の施設で利用してない施設を民間に貸し出しをするなど、 |

| | |
|-----|--|
| | <p>既存のものを改築する方法もあるのでは</p> |
| 委員 | <p>人口増に対して施設整備を行う必要もあるだろうが、今後この施設が廃墟になってしまうこともあるかもしれない。</p> <p>その点で、すべての要望に応えることは難しいが、努力はしていく必要がある。</p> <p>吉川駅南の開発はどのくらい進んでいるのか。</p> |
| 事務局 | <p>大型マンションを整備している区画が4区画あり、現在2区画整備が済んでいる。就学前児童の転入も多い。また、吉川美南駅東口の開発も進んでいくが、将来の人口のピークも見込みながら慎重に施設整備をしていかなければならないと考えている。</p> |
| 委員 | <p>美南小学校の児童が増えている。美南の学童保育室については、どのように考えているのか。</p> |
| 事務局 | <p>学童保育は、学校内に4クラス。現在、学校外に2クラス整備している。市としては、学童保育については待機を出さないという考えで取組をしてきた。4年生くらいまでは一人で留守番をさせておくことが心配だと言う保護者の意見もあり、今後も需要に応じて学童保育を整備していく必要があると考えている。</p> <p>子供たちが増えていくことはまちとしてはうれしいが、課題も増えてくるので、きちんと実情を把握して、整備を進めていく必要があると考えている。</p> |
| 委員 | <p>私立の小学校に通っている子どもは市内の学童に入れないと聞いたが。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>現在、学童保育室に入室している子どもは、自分が通っている小学校の学童保育室に通っている。これまで具体的にそのような相談を受けたことがないが、私立の小学校に通っている子どもが市内の学童保育に通ってはいけないということはないので、相談があれば、要望に応じて対応していきたい。</p> |
| 委員 | <p>学童は夏休みだけは使えないのか。</p> |
| 事務局 | <p>夏休みだけの利用については、どこまで対応できるのか検討しているところ。</p> |
| 委員 | <p>0. 1. 2歳児の保護者は「働かなければいけない」状態なのか。</p> |
| 事務局 | <p>「働かなければならない」という基準はわからないが、10月時点で待機児童になった方の理由で一番多かったのは、育休中、二番目に多かったのは、求職活動中で保育所に入れたら働きたいという方。この中のどの程度が緊急性を持っている方なのかは把握していない。</p> |
| 委員 | <p>0～2歳くらいまでは、育てているときは大変だけど過ぎてみるとあっという間。子育ての方法はいろいろだとは思いますが、大切な時間なので、保育所を利用せず、この時期に一緒に過ごす大切さも伝えられたらいいのでは。</p> |
| 事務局 | <p>育休中の方については、仕事の復帰を控えている方なので、すぐにでも働かなければいけない状況にあると考えているが、その他の方については、状況をつかみ切れていない。いろいろな</p> |

考え方があるとは思うが、保育所に入所せず家庭で育児を行う方については、これまでは子育て支援センターを中心に支援を行っており、今後は利用者支援といったものも考えている。子育てについてはいろいろな考え方がるので、トータルで支援ができるようにしていきたい。

(病児・病後児事業については特に質疑応答なし)

3. その他

・事務局からの連絡事項。

(1) 審議会の今後について

(主な説明概要)

今年度はあと1回の審議会開催を予定している。

議題は以下を予定している。

・小規模保育2施設の整備と新設保育所に関する意見徴収について

4. 閉会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年12月27日

署名委員 竹内真希 自署 署名委員 小針依莉子 自署